

令和7年度 嘉飯桂未来塾

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム



活

動

報

告

書

主催：嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)
後援：福岡県教育委員会

嘉飯桂未来塾とは

嘉飯桂地域（飯塚市、嘉麻市、桂川町）の中学2年生を対象に、地域に縁のある著名人等による講義や体験活動、他校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学び、将来、様々な分野で活躍する「リーダー」の育成を目指した合宿型のプログラムです。

1 主催

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)

2 後援

福岡県教育委員会

3 開催日程

令和7年8月10日（日）～11日（月・祝）（※8月11日は大雨のため中止）
令和7年8月16日（土）
令和7年8月23日（土）～24日（日）

4 主な会場

庄内交流センター	(飯塚市)
飯塚市役所本庁	(飯塚市)
旧伊藤伝右衛門邸	(飯塚市)
桂川町住民センター	(桂川町)
足白農泊施設「カホアルペ」	(嘉麻市)

5 参加状況

募集対象：嘉飯桂地域の中学2年生
参加生徒数：27名

今年度のプログラムの
様子はコチラ



< 本 編 >



< ショート編 >

講師紹介

早友 忠敏 氏 (スマソル嘉麻 店主)

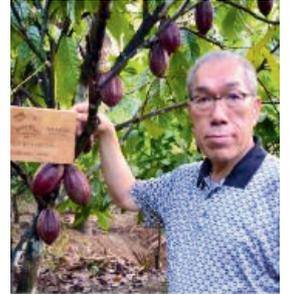
田川郡出身。2018年嘉麻市移住。2019年にスマホ相談窓口「スマソル嘉麻」を起業。地域に密着した通信サービスを提供する傍ら、近隣の小中学校で情報モラル講演を行い、子どもたちのデジタル依存やモラル低下と向き合っている。その中で、子どもたちが外で遊ぶ機会を増やしたいと考え、子どもたちに向けてアウトドアイベントを自ら企画・実行。現在では地域の様々な団体と連携しながら、子どもたちの郷土愛や非認知能力を育む活動にも力を入れている。



中野 利美 氏 (カカオ研究所 最高顧問)

飯塚の3大お菓子メーカーの一角をなす「さかえ屋」に入社後、オリジナルチョコレート菓子の開発、パン部門設立、POSシステム導入等に携わる。社長に就任し、ヨーロッパからのチョコレート技術導入、和菓子、洋菓子それぞれの専門職人の育成、中国工場立ち上げ、冷凍ケーキの開発等、時代のニーズに対応した新しい取り組みを主導する。その後、カカオ研究所を開業し、ベトナム産カカオのブランドイメージ向上とカカオ農家の生活支援のためCACAOKEN ベトナムを設立する。その後、日本に戻ってカカオ研究所の運営に携わりながら、ビントゥパーチョコレートの魅力を伝えるために様々な活動を行っている。

※「『行動することの大切さ』について」をテーマに講義いただく予定だったが、大雨の影響により中止。4日目に、カカオ研究所顧問 中野 富美子 氏より講義を実施。



大久保 千穂 氏 (タカハ機工株式会社 代表取締役)

田川市出身。65歳、夫と息子2人。学習院女子短期大学時代は学習院大学自動車部に所属、競技では2tトラック担当。卒業後、福岡銀行に入行。11年勤務後、実父が経営するタカハ機工に入社。1995年米国VA州の『Takaha America Co.』に8年勤務後2003年帰国。第一次トランプ政権時の2019年、米国・国務省より女性経営者としてアメリカに招聘される。2022年4月社長に就任。福岡県男女共同参画審議会委員、飯塚市中小企業振興円卓会議委員など務める。趣味は生け花、料理、ソーイング。

※「AIの時代に生き残る『ものづくり』」をテーマに講義いただく予定だったが、大雨の影響により中止。



古野 隆雄 氏 (合鴨家族古野農場)

桂川町出身。1975年、九州大学農学部卒業。1992年、合鴨水稲同時作の技術を体系化させアジアを中心に世界に広げる。2000年、スイスのシュワブ財団より、「世界で最も傑出した社会起業家」の一人に選出される。2007年、NHKプロフェッショナル仕事の流儀に出演。2016年、企業と共同でハウキング（株間除草機）を機械化。



正田 英樹 氏 (株式会社chaintope 代表取締役)

九州工業大学情報工学部卒業。平成11年に株式会社ハウインターナショナル創業。平成28年にブロックチェーンに特化して事業を進めるべく株式会社chaintopeを設立。ブロックチェーンを用いた自律分散型の新たな社会モデルの構築をモットーに、様々な分野でのブロックチェーン実装に向けて展開中。九州工業大学、熊本大学の客員教授を務める。



コーディネーター紹介

深山 翔平 氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事長)

教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし全ての人によりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちに自然体験キャンプやマネーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から200名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



活動報告

1日目 Schedule

- 10:00 ~ 入塾式
- 10:40 ~ オリエンテーション
- 12:00 ~ 昼食
- 13:00 ~ グループワーク
- 14:40 ~ 講義
- 16:10 ~ グループワーク（市町交流）
- 17:00 ~ 解散（※大雨のため、宿泊・2日目のプログラムともに中止）



「嘉飯桂未来塾」がスタート。参加生徒は緊張した面持ちで会場の庄内交流センターに入ってきました。

入塾式では、嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム推進委員会の野中会長（福岡県青少年育成課長）から激励の言葉をいただき、来賓の武井政一飯塚市長らと写真を撮影しました。

入塾式終了後、仲間づくりのためのオリエンテーションを行いました。

午後からは、グループワーク、講義を実施しました。早友 忠敏 氏から「スマホと向き合い、地域と生きる～ぼくが仕事にしたこと、伝えたいこと～」をテーマに講義いただきました。早友氏は、スマホ修理やWi-Fi支援などの事業経験を基に、経営の基本やスマホとの付き合い方を語り、「スマホに時間を奪われず理性でコントロールすることが大切であり、睡眠を削らず学び、本物の体験を重ねることで人生を守り豊かにする力が育つ。」と、参加生徒に伝えました。

講義後、市町交流を含めたグループワークを実施しました。その後、大雨による影響で、宿泊・2日目のプログラムともに中止となりました。

2日目 Schedule 大雨の影響により、中止

3日目 Schedule

- | | | |
|---------------------|--------------|-----------------|
| 10:00 ~ 留学生との交流 | 12:00 ~ 昼食 | 15:20 ~ 会場移動 |
| 10:30 ~ 会場移動 | 12:50 ~ 講義 | 15:50 ~ グループワーク |
| 10:50 ~ 旧伊藤伝右衛門邸 見学 | 14:20 ~ 会場移動 | 17:00 ~ 解散 |
| 11:30 ~ 会場移動 | 14:50 ~ 農業体験 | |

午前、飯塚市役所本庁舎（飯塚市）で本日のプログラムに参加する立命館アジア太平洋大学（APU）の留学生と交流し、異文化について学びました。交流会後、旧伊藤伝右衛門邸（飯塚市）に移動し、伊藤氏が炭鉱を掘り当てた歴史と邸宅の文化財としての価値に触れました。広大な邸宅を巡りながら、日本の伝統や当時の暮らしに触れる機会となりました。





見学後、桂川町住民センター（桂川町）に移動し、古野 隆雄 氏から「仕事と人生をおもしろくする」をテーマに講義いただきました。その後、古野氏の農場を見学しました。古野氏は、人工情報ではなく、五感で得る自然情報こそが大切であり、そこに最先端技術があると強調し、体験こそ最大の情報であると伝えられました。また、物事はタイミングが大切で、例えば、田んぼの中の雑草も小さいうちなら簡単に抜けるように、身近な工夫で課題は解決できることを話されました。

その後、桂川町住民センターに戻り、1日の振り返りも兼ねたグループワークを行いました。グループワークではAPUの留学生と英語での会話に挑戦しました。また、日本の課題について留学生と共に考え、異なる視点に触れ、課題解決への新たな学びを得る貴重な体験となりました。



4日目 Schedule

10:20 ~ 講義	15:40 ~ グループワーク
11:30 ~ アドベンチャープログラム①	18:40 ~ 夕食
12:30 ~ 昼食	19:40 ~ グループワーク
13:20 ~ アドベンチャープログラム②	21:00 ~ 就寝



午前、正田 英樹 氏から「志を持つことこそが人生を豊かにする」をテーマに講義いただきました。正田氏は、出会いは次の出会いを生み、志が人をつなげると話されました。また、吉田松陰先生の学びを例に、まずは知り、学ぶことが志の出発点であり、多くの出会いを通じて学びを深め、高い志をもって挑戦し続ける大切さを伝えられました。



講義終了後、アドベンチャープログラムを実施しました。アドベンチャープログラムは、参加生徒がより打ち解け、自分の考えを言い合える雰囲気作りや、これまで学んだリーダーシップを活かすチャレンジの場にするを目的として行われました。数字を踏むゲームやフラフープを下ろすアクティビティ、目隠し誘導など協力が不可欠な課題を体験することで、楽しみながら横のつながりを築き、日常でも活かせる学びを得ました。大雨によりプログラムの一部を中止した影響もあり、横のつながりが十分に築けない状態から始まりましたが、アドベンチャープログラムを通じて参加生徒は「協力」の意味を体験・理解し、発言やアイデアが積極的に出せる雰囲気が生まれました。その後のグループワークでは、参加生徒は自信を持って意見を発表できるようになりました。

その後のグループワークの冒頭に、中野 富美子 氏から、チョコレート作りの大変さや農園の現状を講義いただきました。これまでの経験から、新たな出会いや行動することの大切さについて語られました。参加生徒は、カカオのサンプルを直接見たり味わったりしながら学びを深め、理解を広げました。



5日目 Schedule

- 7:00 ~ 起床・朝食
- 9:30 ~ グループワーク
- 11:30 ~ 昼食
- 12:30 ~ 発表準備
- 13:30 ~ グループ発表・個人発表
- 15:30 ~ 卒塾式
- 16:30 ~ 解散

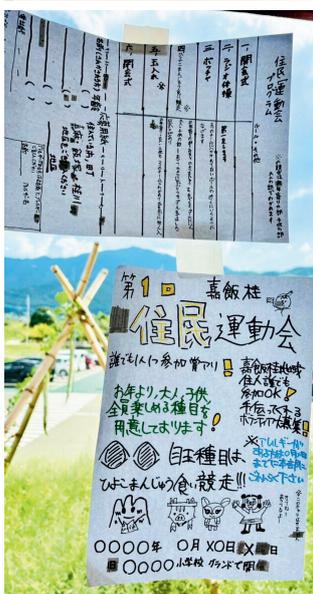
グループ発表では、この4日間で体験し、学んだことを振り返りながら「私たちが目指す未来の嘉飯桂地域」をテーマに模造紙

を使って発表しました。仲間と協力しながらアイデアを深め、「どう実現するか」「誰に協力を得るか」「資金はどう確保するか」といった具体的な実行方法を模造紙にまとめ、ロールプレイも交えながら発表を進めました。

また、個人発表では、このプログラムに参加した感想、このプログラムで経験したことを踏まえて、「これから自分たちができること」を各自発表しました。中にはリーダーシップの経験や学校・地域で挑戦したいことを語る生徒もあり、全員が堂々と前を向き、自信に満ちた姿で発表を終えました。

見学に来ていた保護者の方々、関係者から発表内容について質問を受けた参加生徒は、自分たちの言葉で丁寧に答えるなど、活気のある発表会となりました。

発表終了後、卒塾式を行いました。赤間嘉麻市長から参加生徒に修了証書が授与され、井上桂川町長（代理 山邊副町長）から卒塾生に対し、これからの挑戦に向けたエールが送られました。



アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

〈アンケートの実施方法〉

- ・プログラムの初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった。
- ・5項目（共感される力、自己肯定感・自己効力感、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうか調べた。
- ・1つの項目に対し、4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価

〈令和7年度アンケート結果〉



〈質問例〉

1. 共感される力

何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える

2. 自己肯定感・自己効力感

自分の長所や強みについてよく分かっている

3. コミュニケーション

話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている

4. 目標達成

自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる

5. 考える力

新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ



参加生徒の声

私はこの4日間の様々な方の講義を通して、一番大切なことは何事も挑戦することだと学び、地域の未来のために様々なボランティアに参加しようと思った。

積極性の大切さを知った。もともと、リーダーシップをとることが苦手だったが、嘉飯桂未来塾を通して他の人の意見を知れる嬉しさや、楽しさを感じることができた。

話し合いを進めたり班で行動する時に失敗を恐れないということを大切にしてみたことで、自信を持って発言できた。このことを今活動している地域ボランティアの活動に役立てていきたい。

最初は意見を出すことと恐れて何も言えなかったけどグループワークやアドベンチャープログラムを通じて、意見を出し、トライアンドエラーすることが大切だと実感しました。

新しいことでもチャレンジすれば新しい発見があると分かった。新しいことにチャレンジし、将来、嘉飯桂を引っ張っていきたいです。





令和7年度

嘉飯桂未来塾

主催：嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(飯塚市教育委員会、嘉麻市教育委員会、桂川町教育委員会、福岡県)

問合せ先

嘉飯桂地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会事務局
(福岡県青少年育成課内)

住所 〒812 - 8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号
TEL 092 - 643 - 3402 (平日 9 : 00 ~ 17 : 00)
Mail ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp